

## 平成9年度卒業論文レジュメ

生 鳶, 亜樹子

<https://doi.org/10.15017/780>

---

出版情報：教育経営学研究紀要. 5, pp.166-167, 2001-03-31. 九州大学大学院人間環境学研究院(教育学部門)教育経営学研究室

バージョン：

権利関係：

【卒業論文レジュメ】

## 校長のリーダーシップに関するエスノグラフィー的研究

－ 一定時制高校校長のケース・スタディー－

生 嶋 亜 樹 子

(平成10年3月卒業)

### I. 目次

#### 序 章

#### 第一章 J 高校におけるリーダーシップを規定する学校文化の分析

##### 第1節 総合的学習の意義と課題

－教育課程文化と校長のリーダーシップ－

##### 第2節 学校文化の様相(1)

－組合文化に派生する教職員文化と校長のリーダーシップ－

##### 第3節 学校文化の様相(2)

－一定時制高等学校の生徒文化と校長のリーダーシップ－

#### 第二章 一定時制高校校長のリーダーシップのエスノグラフィー

##### 第1節 調査の概要

##### 第2節 校長のリーダーシップ分析

(1) 量的分析

(2) 質的分析(1)－文化的リーダーシップの場面分析－

(3) 質的分析(2)－管理技術的リーダーシップの場面分析－

##### 第3節 事例の総括

#### 第三章 方法論としてのエスノグラフィーの意義の再考察

#### 終 章

### II. 概要

第一章では、調査を行ったJ高校の学校文化を形成する諸要素として校長のリーダーシップを規定する学校文化の下位文化に関して考察した。第1節では、先導的な実践が蓄積されてきた総合的学習の導入の様相に関して述べた。J高校は、文部省指定の研究開発学校による総合的学習の実践を行って2年目にあり、校長・教頭・研究主任を中心にして、総合的学習による教育課程の改革が試みられてきていた。J高校には組合文化を中心とする教職員文化と、一定時制高校のもつ生徒文化が存在し、既存の学校文化に、新たな教育課程文化が導入される過程を、本稿の分析の中心とする。

第二章では、以上のJ高校の「学校文化」に従った考察枠組みを提示したうえで、エスノグラフィーの方法によるケースの分析を行った。J高校の校長は、研究主任等への支援や、総合的学習の時間の生徒への声かけ等により、既存のネガティブな学校文化の変革により、総合的学習の導入に成功したことを明らかにした。

第三章では、第二章の分析をふまえて、小・中学校、全日制の高校で行った同様の調査と比較しながら、校長のリーダーシップ研究における方法論としてのエスノグラフィーの意義を再考察した。